

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		在宅障害者支援事業費 [障害者食事サービス事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	7	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	障害福祉		課		障害福祉		係	課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	買物や炊事が困難な障害者のみの世帯 身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者			→ 身体障害者手帳2級以上、愛の手帳4度以上、 精神保健福祉手帳2級以上の者					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
安心して在宅生活を送れるようにする。			→ 利用者数/対象指標の人数						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
委託事業者による昼食の配食と安否確認。 自己負担：一般世帯=500円、生活保護世帯=370円 実際の単価との差額と生活保護世帯補助分(130円)を 市が負担する。			→ 利用者数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2,596	2,691	2,779			
	成果指標	②の数値	%	0.3	0.2	0.3			
	目標	②の目標値		目標値設定の考え方 申請に基づき対象者に対して適正なサービスを提供する。					
活動指標	③の数値	人	10	8	7				
3 経費	事業費(実績)		円	155,835	203,234	212,020	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	155,835	203,234	212,020			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人						
	職員人件費(再任用以外)	円	415,500	419,000	412,500				
	職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費		円	571,335	622,234	624,520				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成16年度						
	(2) 環境の変化		制度開始当初は、社会福祉協議会の事業への補助として実施(高齢者と一体の事業)。昼食の配食であるが配食日数を平成22年度から週7日に拡充した。民間でも配食サービスが実施されるようになったため、平成28年度から民間事業者への委託事業とした。 民間の食事提供企業による同様のサービスが拡充しており、市が実施することの必要性について研究することが必要である。						

事業名称	在宅障害者支援事業費 [障害者食事サービス事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	生活保護受給者やその支援者からはニーズがある。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	利用者は少ないが、定期的な食事の提供の他、本人の安否確認の意味も含めて重要な役割を担っている。民間の食事提供企業による同様のサービスもある中で、市が実施することの必要性について研究することが必要である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
安否確認が別の事業で代替するかを検証する必要がある。				
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 障害者福祉の推進				
<input type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名(民間の宅配弁当サービス)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 令和4年度からは新規申請は行わないこととした。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
他制度(障害福祉サービスでの訪問介護等)や民間類似サービスへの移行が可能かは、個別に調整していく必要がある。				